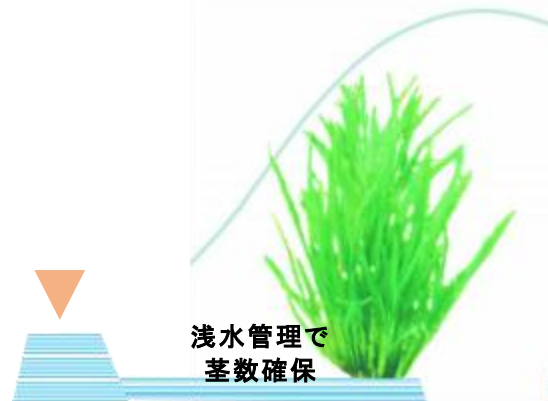


関東 早場米地帯 早生ゆみはりづき 栽培暦 一版

2025年11月 水稻生産技術研究所作成

作 期 目 安	4月			5月			6月			7月			8月			9月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
	推 奨			田 植						出 穂			収 穫				
	コシヒカリ(参考)			田 植						出 穂			収 穫				

- 多収性
・1穂粒数が多く、千粒重も大きい多収品種です。
- 良食味
・「ミルキークイーン」のような粘りの強い良食味品種です。
- 耐倒伏性
・稈長65cm程度の短稈品種で耐倒伏性があります。
- 収穫時期
・出穂は「あきたこまち」と同時期ですが、穂が大きく登熟に時間を要するため、収穫時期は「あきたこまち」に比べ遅くなります。
- ・胴割粒を防止するため、籾黄化率85～90%を目安に収穫します。



一発肥料使用時も葉色低下時は穂肥検討

葉色板4以下。SPAD値34以下。



一般品種よりも登熟期間が長いため、より長期にわたって間断灌漑を継続する。

適期収穫



分けつ期

最高分けつ期

幼穂形成期 出穂期

成熟期

＜施肥(N成分)目安＞

- 一発肥料(100日タイプ) 9～10kg/反
※コシヒカリ栽培時に6～7kg/反施用する圃場。
- 圃場地力により加減する。
- 分施の場合は基肥6～7kg+穂肥2～3kg/反が目安

＜最高分けつ期生育目安＞

目標茎数	葉色	有効茎歩合
600 本/㎡	SPAD値 40	70% 以上

＜穂肥目安＞

- 1回目：出穂20～18日前頃
- 2回目：出穂15～10日前頃

＜実肥＞

- 登熟が遅れる懸念があるため非推奨

＜収量構成要素の目標(660kg/反)＞

穂数	一穂粒数	千粒重
430 本/㎡	140 粒	23 g

＜播種量＞

- 地域慣行と同等。
- 密苗栽培も可能。

＜消毒＞

- 未消毒種子のため必ず適切な種子消毒を実施。
農薬使用時の温度条件に注意する。
- 塩水選は行わない。

＜催芽処理＞

- 休眠が深いため、一般品種より長めに浸種してから催芽を行う。
- 水温10℃以上で浸種を行う。

＜育苗日数＞

- 地域慣行と同等。

＜中干し＞

- 小ひびが入り地固めできる程度にしっかりと実施。
- 過剰分げつが懸念される場合は、早めに実施。

＜高温登熟対策＞

- 出穂後高温が予想される場合は、かけ流し灌漑や昼間の保水管理を実施。また落水時期を延長。



＜防除＞

- 地域慣行と同等。 ※要注意病害虫
- ・紋枯病、稲こうじ病、白葉枯病、イネツトムシ、ニカメイチュウ
- 出穂が周辺作付品種とずれる場合は、カメムシ防除時期に注意。

＜収穫＞

- 胴割粒の防止のため、籾黄化率85～90%の収穫を推奨。
穂先端からの胴割に注意しつつ、下部まで登熟させる。
- 籾黄化率80%未満の早刈りで未熟粒が多発し減収する。
- ゆっくりとした速度で収穫する。

＜乾燥＞

- 胴割粒の防止のため、一般品種より乾燥速度を落とす。
- 可能なら水分18%程度で乾燥を止めて、水分むらを是正してから仕上乾燥を行う(二段乾燥)。

＜調製＞

- 網目は一般品種と同じ。
- 着色粒や被害粒を中心に色彩選別機で選別。
白度の感度を強くすると収量減に繋がる。